



企画総務委員会報告

令和5年5月14日(日)

【委員長】黒辺 一彦 【副委員長】渡辺 信行

【委員】筒井 登、稲垣 一夫、前田 修、神谷 雅章、佐々木 映美、牧 一心



企画総務委員会の所管

所管部局	所管課
総合政策部	秘書政策課、広報広聴課、人事課、情報政策課
総務部	総務課、財政課、税務課、収納課
資産経営局	資産経営課
危機管理局	危機管理課
会計課	会計課
議会事務局	議事課
監査委員事務局	監査
消防本部	消防総務課、予防課、指令課、消防署

委員会で審議した議案等 (議案:4件、陳情2件)

番号	議案等	採決結果
陳情 第4号	庁舎内での職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を禁止するように求める陳情	不採択
陳情 第6号	ミャンマーの民主活動家に対する死刑執行の即時中止に向けた日本政府の緊急対応を求める意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択
議案 第1号	西尾市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	可決
議案 第2号	西尾市まち・ひと・しごと創生基金に関する条例の制定について	可決
議案 第6号	西尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案 第23号	西尾市津波避難施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決

予算・決算委員会 分科会で審議した議案(2件)

番号	議案等	自由意見
議案 第27号	令和4年度西尾市一般会計補正予算(第10号)《関係分》	なし
議案 第34号	令和5年度西尾市一般会計予算《関係分》	なし

今回の報告案件 令和5年度主要事業抜粋

※予算額は1万円以下切り捨て/国県等の財源含む

所管部局	事業名	予算額(万円)	事業の概要
総合政策部	市政70周年記念式典	1,700	記念式典/5月28日(日)10:00～ 記念講演会/ 同日 14:30～ 文化会館大ホールにて
総合政策部	まちなかにぎわい創出イベント	1,800	10月22日(日) 市役所、西尾駅及び歴史公園周辺にて、お笑いステージ、マルシェ、eスポーツ体験会、農業物産展、名鉄利用促進イベントなど開催
総合政策部	危険箇所のLINE通報機能追加	254	市民が道路損傷や公園遊具の損壊などの危険箇所の画像や位置情報を、西尾市LINE公式アカウントに通報できる機能を追加
総務部	納税コールセンター運営	1,997	市税滞納者への自主納付の呼びかけ業務を行う「納税コールセンター」の運営を民間事業者に委託
危機管理局	津波避難タワー整備	1億3,205	【令和5年度】6基分の設計業務等 【6～8年度】各年度2基建設(治明、奥田、藤江、小栗、生田、荻西地区)
消防本部	消防本部消防署庁舎・施設改修	5億8,578	【令和5年度】仮眠室個室化等事業、高機能消防指令センター施設更新 実施設計、大規模改修工事実施設計 【6年度】高機能消防指令センター施設更新、大規模改修工事 【7年度】大規模改修工事

① 市政70周年記念式典について

委員の質問	市の答弁
市政70周年記念式典事業1,700万円の内訳はどのようなか？	市民栄誉賞、特別功労、特別感謝状記念品等に176万円、記念式典運営管理業務に1,422万円。 運営管理業務の中には、案内状の印刷、発送、プログラムなど式典資料の作成、来場者への記念品の制作費やイベントで行った推し偉人総選挙、偉人絵画コンクール、当日のLIVE配信、記念講演を依頼している斎藤佑樹氏の出演料、当日の警備員、スタッフ等の配置を含めた運営管理を一括委託している。
70周年記念事業に多額の予算が組まれているが、生活に困っている市民は不満を感じている。どのように考えるか？	弱者支援はもちろん大事なことであると同時に、コロナ禍が地域社会に暗い影を落とす中で、明るく前向きな気持ちになっていただけるような地域活性化事業も大事であるとする。 節目ごとの周年事業を市民の皆さんとともに喜びを共有することにより、「住んでよかった」と言っていたいただけるようなまちづくりを推進していきたく考える。

②まちなかにぎわい創出イベントについて

委員の質問	市の答弁
まちなかにぎわい創出イベント事業委託料の1,800万円の内訳と事業内容はどのようなか？	イベント会場は歴史公園で行い、そこでお笑いステージや各種団体の発表などを予定している。事業者からの見積りから主なものは、ステージ設営120万円、会場設営撤去準備250万円、タレント出演料(4組程度)400万円、シャトルバス運行85万円、デジタルスタンプラリー80万円、その他企画運営費、アンケート実施、警備、ごみ処理などです。
来場者をどれくらい期待しているか？	特に数値目標は設けていないが、本市の70周年をPRする絶好の機会と捉え、eスポーツ体験や市役所マルシェなどの70周年記念行事と同日に開催し、事業効果を高め、市内外から多くの方にお越しいただきたいと考えている。

③危険箇所のLINE通報機能追加について

委員の質問	市の答弁
市民からLINEでの道路損傷などの通報があった場合、職員が危険箇所を管理するほかに、今後の対応はどのように行うのか？	危険箇所の画像や位置情報を正確に把握することができ、その内容は庁内型GISへ自動反映されるなど職員の事務効率の利用にも繋がると考える。 通報システムが普及していけば、危険度の高いものなど優先順位を考慮して対応することが比較的容易になると考える。
通報者への回答はどのように行うのか？	関係部署と運用の検討中であるが、現段階では通報を匿名扱いとし、個別に回答することは考えていない。

④納税コールセンター運営について

委員の質問	市の答弁
事務を民間委託することのメリットとデメリットはどのようなか？	メリットは主に3点 1点目:市が「直接雇用」するよりも管理や業務指示を行う必要がなくなるため効率的に業務を行うことができ、市税徴収額の減少することが避けられる。 2点目:委託業者の実績により「直接雇用」よりも高い効果が得られる。 3点目:オペレーターの休暇など業務管理のリスクが少なく、安定した業務運営が行える。 デメリットについては特に考えていない。
この事業は現年分について勧奨することとなっているが、対象を全ての滞納にしない理由は何か？	「滞納繰越分」については、すでに滞納額が累積しているケースも多く、納税コールセンターによる勧奨効果が低いと考えるため、現状は考えていない。 今後も他市の状況を見ながら「滞納繰越分」の納税勧奨の実施について判断していく。

⑤津波避難タワー整備について

委員の質問	市の答弁
6基の津波避難タワーが受け入れられる要配慮者の見込みはどれほどか？	津波避難施設整備方針により、要配慮者の受け入れ見込みは1,049人。
避難計画の策定は行うのか？	要配慮者本人やその家族、地域の自主防災会などが連携し、地区の防災計画、個別避難計画の中で津波避難タワーへの避難計画を作成していただく。 計画作成の際には、危機管理課として助言や相談に乗ることでサポートしていく。

⑥その他の質疑について

委員の質問	市の答弁
固定資産税約2億円の収入増額の要因をどのように分析しているか？	家屋の新增築の増加を見込んでいることによるもの。
市債が53億2,550万円(前年度対比+約17億)と大幅な増額となっている要因は？	文化会館(約10億1,000万円)、消防本部消防署庁舎と消防署庁舎仮眠室の個別化等(6億3,000万円)の大規模改修によるもの
特殊詐欺対策装置購入費補助事業について、市民への周知の工夫はどのようなか？	防犯協会が作成、配布している防犯広報誌「セーフティマイタウン西尾」への掲載を全戸に回覧するほか、憩の農園ファーマーズマーケットなど高齢世帯の方が多く訪れる場所でキャンペーン活動を行った。消費者生活センターと連携し、消費生活講座を開催する際に制度を紹介している。

ご清聴ありがとうございました。

企画総務委員会一同